| 授業科目名 | 障害者福祉論 21 | 単位数 | 2 |
|---|---|---|---|
| 担当教員名 | 松浦　聡 | 担当形態 | 単独 |
| 実務内容<br>（実務家教員の場合） | | | |

「学位授与の方針」との関係

・問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。

・多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星瑳の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。

・個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探求能力を身につけていること。

・共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。

授業の到達目標及びテーマ

(1)障害の概念及び歴史的経緯、障害者の今日的状況について理解する。

(2)障害者福祉における支援・援助の実施体制及び法体系・制度内容の理解と社会福祉士として期待される知識・技術、価値・倫理を修得する。

授業の概要

障害概念及び障害者の生活実態と支援・援助課題を把握し、具体的実践に必要な知識・技術を修得する。特に支援・援助の実施体制及び法体制と制度内容を理解し、社会福祉士としての専門職倫理・規範について学修する。

授業計画

第1回:障害概念と特性
第2回:障害者福祉の理念と障害者観の変遷
第3回:障害者福祉の歴史と経緯・発展過程
第4回:障害者生活実態と社会的環境
第5回:障害者への支援・援助に関する法体系・制度①
第6回:障害者への支援・援助に関する法体系・制度②
第7回:障害者への支援・援助に関する法体系・制度③
第8回:障害者の自立支援制度と実際①
第9回:障害者の自立支援制度と実際②
第10回:障害者支援・援助に関わる実施体制・組織、機関等
第11回:障害者と家族等への支援・援助に関わる専門職の役割
第12回:障害者と家族等への支援・援助に関わる実施体制と関係機関・専門職等
第13回:障害者福祉における多職種・機関連携
第14回:障害者の人権及び権利擁護と社会福祉士としての倫理・規範
第 15 回:障害者福祉の今後の課題と将来展望
定期試験

教科書

(社)日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編）
『最新　社会福祉士養成講座　精神保健福祉士養成講座⑧　障害者福祉』中央法規出版 2021 年

参考文献

（１）石渡 和実『Ｑ＆Ａ障害者問題の基礎知識』明石書店　１９９７年
（２）大瀧 憲一『障害ってなんだろう』旬報社　２００２年
（３）谷口 明広『障害をもつ人たちの自立生活とケアマネジメント』ミネルヴァ書房　２００５年
（４）石渡 和実『「当事者主体」の視点に立つソーシャルワーク　はじめて学ぶ障害者福祉』みらい　２００７年
（５）茨木 尚子ほか『障害者総合福祉サービス法の展望』ミネルヴァ書房　２００９年
（６）佐藤 久夫・小澤 温『障害者福祉の世界（第５版）』有斐閣アルマ　２０１６年
（７）小澤 温（編）『よくわかる障害者福祉（第６版）』ミネルヴァ書房　２０１６年
（８）坂本 洋一『よくわかる障害者総合支援法（第２版）』中央法規出版　２０１７年

学生に対する評価

レポート評価（５０％）、科目修得試験（５０％）を総合して評価する。